

## 2017年7月度家計分析

**提出者数** 提出者は119名、提出率は86.2%でした。前月より1名、前年より24名減となりました。

**収入** 6月に続き賞与支給月でしたが、総合では「賞与(妻)」「同居の家族からの収入」「その他の収入」が前年を下回ったためか「実収入計」が89.5%となりました。

**非消費支出** 賞与支給に伴う「所得税」「健康保険」「介護保険」「厚生年金」の徴収、また「損害保険」「生命保険」「個人年金」を年払いされた方もありましたので、「非消費支出」は前年比106.9%となりました。

**消費支出** ランキングの総合の1位は「社会保険計」、2位は「食費計」、3位は「税金計」でした。「交際費」が4位に入っているのは、法要や中元への支出もありましたが60代以上で子ども世帯の住宅購入の援助をされた方があったためです。子どもや孫の夏休みに合わせてか家族旅行などを計画された方もあり、8位の「教養娯楽費」は前年比121.6%でした。

6月、7月は賞与支給でホッとされた世帯も多かったのではないのでしょうか？40代以上の世帯で電気温水器の修理や風呂リフォーム、エアコン取り換えなどをされた世帯もありました。

現在、公的年金の支給開始年齢は65才まで引き上げられつつありますが、高齢化社会に対応してさらに遅らせるという選択肢も提案されています。人手不足解消のために企業の定年延長も行われており、長く働き続けることが求められるようになってきました。ただし給料は一定の年齢で切り下げに転じる傾向があるため、収入が減ることに合わせて親世代の介護や子どもの教育費のために貯蓄の取り崩しが早まる可能性もあると言われています。家族のライフプランの見直しが必要になっているようです。

### ランキング

	総合	20代-30代	40代	50代	60代以上	年金世帯
1	社保 70,730	家地 69,125	社保 104,220	社保 131,633	交際 106,620	交際 118,915
2	食費 66,030	社保 68,359	税金 82,486	税金 124,803	食費 65,141	食費 64,310
3	税金 63,419	食費 48,021	食費 64,504	家地 94,667	教娯 43,677	教娯 46,334
4	交際 61,018	税金 40,926	家地 63,455	食費 72,344	私保 40,139	私保 35,753
5	私保 43,111	教育 38,498	教育 58,250	職主 53,454	住他 33,242	住他 35,535
6	家地 41,591	職主 31,300	私保 40,417	私保 53,452	職主 27,550	職主 23,086
7	職主 35,143	私保 27,154	教娯 31,266	教育 40,098	社保 26,905	社保 21,700

税金：税金計、社保：社会保険計、私保：私的保険計、家地：家賃地代、

住他：住居費その他、水光熱：水道光熱費、教娯：教養娯楽費、職主：職業主婦費